

令和6年度事業報告

公益財団法人栃木県保健衛生事業団

目次

1	令和6年度事業報告	1
---	-----------	---

令和 6 年度事業報告について

当事業団の経営理念である「県民の健康保持増進」を推進し、公益法人としての役割を十分に果たすとともに、国や県が定める健康増進計画の施策推進にも資するため、令和 6 年度は市町などと連携した受診勧奨や広報活動を中心とした普及啓発事業等を積極的に実施するとともに、国の制度変更にも対応しながら、各種健診検査事業を適正かつ円滑に実施しました。

普及啓発事業では、テレビ、ラジオ、新聞、SNS などに加え、新たに JR 宇都宮駅東口エリアのデジタルサイネージ（電子看板）を活用し検診の受診率向上などの普及啓発を行ったほか、県内プロスポーツ試合において、乳がんに関する資料配付やパネル展示等を実施するなど、県民のがん予防や生活習慣病予防等への関心を高め、健康に関する意識向上に寄与する事業を展開いたしました。

集団健診事業の住民健診では、市町とともに受診率の向上に努めたほか、令和 6 年度から開始となった第 4 期特定健康診査における質問項目の変更や中性脂肪に係る検査項目の変更などに的確に対応しました。

検査事業では、新生児の先天性代謝異常等検査で治療法の進歩を背景に全国的に広がっているライソゾーム病等スクリーニング検査の令和 7 年 4 月からの事業化に向けて、一般社団法人とちぎ子ども医療支援プロジェクトからの補助金を受け、令和 6 年 10 月から半年間、栃木県産婦人科医会及び自治医科大学・獨協医科大学等と連携して、データ収集を兼ねて無償にてパイロットテストを実施しました。

人間ドック事業では、「とちぎ健康の森の長寿命化工事」の影響を受け、開設日数が大幅に減少したことから、実施体制の見直しを行い 1 日あたりの受入枠を増やし、受診機会の確保に努めました。

特定保健指導事業では、令和 6 年度から開始された第 4 期特定保健指導で、積極的支援における評価体系が大きく変更となり、成果を重視した評価体系（アウトカム評価）となったことから、ICT も活用できる新たな保健指導システムを稼働するとともに運用方法の見直し等を行いました。

食品環境検査事業では、事業団全体の検査実施体制の効率化と施設の有効活用を総合的に判断し、令和 6 年 4 月から腸内細菌検査事業をとちぎ健康の森から栃木県保健環境センター内の食品環境検査所に移転し、従来の食品検査や簡易専用水道検査等に加えて実施しました。

事業団全体としては、物価上昇の影響による検診器材の高騰や賃上げによる人件費の上昇など経費の増加が進行する中、計画的な職員採用、人材育成、設備投資や健診・検査の精度管理の維持向上に努めるとともに、顧客サービス向上や普及啓発による受診者の確保と経費削減にも取り組み、「企画戦略プラン第 3 期」を着実に推進しながら、経営基盤の安定強化に努めました。

第1 普及啓発事業

県民が、疾病予防や健康の保持・増進及び生活環境に関する正しい知識を得て、健診・検査を受けるなどの適切な疾病予防行動に繋げることを目的とした普及啓発事業を実施しました。

1 予防医学推進のための普及活動

結核・がん・生活習慣病等予防及びメンタルヘルスに関する知識の啓発のために、県・市町・医師会及び各種関係団体等との連携に努めながら各種メディアや SNS の活用、イベントの開催・参加などによる普及啓発活動を展開しました。なお、令和6年度は新たに AM ラジオでのコマーシャルの放送を行いました。

(1) 結核予防活動

県民の結核に関する意識の高揚と正しい知識の普及を図るため、次の活動を行いました。

ア 結核・呼吸器感染症予防週間運動の実施（9月24日から30日）

(7) 県や市町及び学校等に結核予防のポスターやパンフレットを配付し、結核や呼吸器感染症の予防に関する普及啓発を行いました。

- ・ポスター 920 部
- ・パンフレット 13,100 部

(4) 結核予防に関する内容について県内のマスメディアや SNS を活用した普及啓発を行いました。

- | | | | |
|------|----------------|-----|----------------|
| ・テレビ | 45 秒告知 | 1 種 | 10 回（とちぎテレビ） |
| ・ラジオ | 20 秒告知（※） | 1 種 | 14 回（エフエム栃木） |
| | 90 秒告知 | 1 種 | 5 回（エフエム栃木） |
| | 20 秒告知 | 1 種 | 14 回（CRT 栃木放送） |
| | 80 秒告知 | 1 種 | 6 回（CRT 栃木放送） |
| | 生ワイド出演 | 1 回 | （CRT 栃木放送） |
| ・新聞 | 半 3 段モノクロ告知 | 1 種 | 1 回（下野新聞） |
| | 栃木版半 3 段モノクロ告知 | 1 種 | 1 回（読売新聞） |
| ・SNS | X 投稿 | 1 種 | 3 回 |

（※）当事業団の職員による収録・放送

(9) 9月24日から30日まで栃木県庁昭和館にて、結核予防のシンボルカラーである“赤色”のライトアップを栃木県感染症対策課との共催で初めて実施しました。

イ 複十字シール運動の実施

(7) 結核予防活動の一環として、公益財団法人結核予防会が全国的に行う「複十字シール運動」に協力し、8月から12月まで募金活動を実施しました。

この募金は、全額を公益財団法人結核予防会に納付し、結核予防の広報や教育資材の作成・調査研究に役立てられます。

- ・令和6年度募金額 1,397,903 円

(4) 結核などの胸部に関する疾患予防の普及啓発活動として行っている「全国一斉複十字シール運動」の開始にあたっての栃木県知事への表敬訪問を7月30日に実施しました。栃木県結核予防婦人連絡協議会（栃木県地域婦人連絡協議会）との合同で、結核の現状報告並びに複十字シール運動への協力を依頼しました。

(9) 「複十字シール運動」の意義を広く県民に伝え、結核予防思想のより一層の普及を図ることを目的とした「街頭キャンペーン」を実施しました。栃木県結核予防婦人連絡協議会（栃木県地域婦人連絡協議会）との共催で、9月23日に宇都宮オリオン通り商店街東武駅前アーケードにて募金活動やパネルの展示、リーフレットやグッズの配布などを行いました。

(2) がん征圧活動

県民のがん予防に関する意識の高揚と知識の普及を図るため、次の活動を行いました。

ア 栃木県がん征圧月間運動の実施（9月1日から30日）

(7) 栃木県及び一般社団法人栃木県医師会との共催により「栃木県がん征圧月間運動」を実施しました。県や市町等のほか、県内の教育機関にがん検診に関するポスターやリーフレット等を配付し、がん予防に関する普及啓発を行いました。

・ポスター2種（がん征圧、禁煙 各1,200部）

計2,400部

・リーフレット2種

（がん検診：4,000部、女性のがんと健康：4,000部）

計8,000部

・冊子（がんを知ろう）

2,300部

(イ) がん検診に関する内容について県内のマスメディアやSNSを活用し、がん征圧運動を周知しました。

- | | | | |
|-------------------------|------------------|-----|------------------|
| ・テレビ | 45秒告知 | 1種 | 20回（とちぎテレビ） |
| ・ラジオ | 90秒告知 | 2種 | 10回（エフエム栃木） |
| ・新聞 | 折込紙見開き1/2フルカラー告知 | 1種 | 1回（下野新聞折込紙「アスポ」） |
| | 栃木版半3段モノクロ告知 | 1種 | 1回（読売新聞） |
| ・SNS | X投稿 | 1種 | 2回 |
| | Xプロモツイート | 1種 | 1月 |
| ・立て看板（とちぎ健康の森エントランスに設置） | | 1カ所 | |

(ウ) がん対策運動のシンボルカラーとして有名な乳がんの“ピンク色”のライトアップを、9月1日から10日まで宇都宮タワー（八幡山公園）で実施したほか、10月1日から10日まで栃木県健康増進課との共催で栃木県庁昭和館のライトアップを実施しました。

(エ) がんに関する正しい知識の普及とがん検診の啓発を目的とした「街頭キャンペーン」を9月7日に実施し募金活動やパネルの展示、リーフレットやグッズの配布などを行いました。今年度は実施場所を、オリオン通り商店街からJR宇都宮駅東西連絡自由通路に変更し、幅広い世代への啓発活動を行いました。

イ がん征圧募金運動の実施

(ア) がん征圧活動の一環として「がん征圧募金運動」を9月から12月まで実施し、県民のがん予防に関する意識の高揚と知識の普及を行いました。

この募金は、がん征圧の普及啓発活動に役立てています。

・令和6年度募金額 2,623,911円

(イ) がん征圧募金に関する内容についてSNSを活用し告知掲載を行いました。

- | | | | |
|------|-----|----|----|
| ・SNS | X投稿 | 1種 | 1回 |
|------|-----|----|----|

ウ 県内プロスポーツ試合での普及啓発

乳がんを中心としたがんに関する正しい知識の普及とがん検診の受診率向上を目的とした「とちぎ de ピンクリボン」イベントを男子プロバスケットボールリーグ（Bリーグ）の宇都宮ブレックス主催試合の冠スポンサーとなり、11月2日、ブレックスアリーナ宇都宮で行いました。乳がんに関する資料配付やパネル展示、場内アナウンスや大型ビジョン等を活用して乳がんをはじめとしたがん検診の普及啓発を行いました。また、新たな試みとして、事業団公式Xのフォロー＆リボストのキャンペーンを実施しました。

エ がん予防に関する意識を高めるイベントへの参加

公益財団法人日本対がん協会とボランティアによる地元実行委員会が主催する、がん患者並びにその家族と支援者のためのチャリティーイベント「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2024 とちぎ」（9月14日～15日：壬生町総合公園陸上競技場）が開催され、事務局として参画しました。

また、当事業団はルミナリエに協力したほか、リレーウォークにも参加しました。

オ その他の主ながん検診受診率向上への取組

厚生労働省、都道府県等が主催する各種普及週間・月間に呼応し、がん検診に関する内容について県内のマスメディアやSNSを活用し、がん検診受診率向上のための啓発活動を行いました。

- | | | | |
|------|-----------|----|-------------|
| ・テレビ | 45秒告知 | 3種 | 40回（とちぎテレビ） |
| ・ラジオ | 20秒告知（※） | 2種 | 28回（エフエム栃木） |
| | 90秒告知 | 2種 | 10回（エフエム栃木） |
| ・新聞 | 半3段モノクロ告知 | 2種 | 2回（下野新聞） |

	栃木版半3段モノクロ告知	1種 1回 (読売新聞)
・SNS	X投稿	5種 8回
(※) 当事業団の職員による収録・放送		

(3) 生活習慣病等予防や生活環境に関する普及活動

県民の生活習慣病等予防や疾病の早期発見及び生活環境に関する意識の高揚と知識の普及を図るため、次の活動を行いました。

ア 禁煙週間 (5月31日から6月6日) の普及啓発

(7) 禁煙に関するポスターの配付と展示を行いました。

・禁煙ポスター (配付) 280部

(展示) とちぎ健康の森エントランス・人間ドックフロア・食品環境検査所・
当事業団打合せコーナー

(イ) 禁煙週間に関する内容について県内のマスメディアやSNSを活用し普及啓発を行いました。

・新聞	1面突き出しフルカラー告知	1種 1回 (下野新聞)
・SNS	X投稿	1種 1回

イ 栃木県糖尿病予防・重症化防止強化月間 (11月1日から30日)

(7) 県から提供を受けた普及啓発ポスターやリーフレットの配布を行い、糖尿病予防と重症化防止のための啓発活動を行いました。

・世界糖尿病デーポスター (展示) とちぎ健康の森エントランス・人間ドックフロア

・リーフレット (配布) 4種 計320部、とちぎ健康の森エントランス・人間ドックフロア

(イ) 糖尿病予防に関する内容について県内のマスメディアやSNSを活用し普及啓発を行いました。

・テレビ	45秒告知	1種 10回 (とちぎテレビ)
・新聞	1面突き出しフルカラー告知	1種 1回 (下野新聞)
・SNS	X投稿	1種 1回

ウ 生活習慣病等予防の普及活動

生活習慣病予防やメンタルヘルス対策に関する内容について県内のマスメディアやSNSを活用し、健診・検査の受診率向上を図りました。

・テレビ	45秒告知	2種 20回 (とちぎテレビ)
・ラジオ	20秒告知(※)	4種 56回 (エフエム栃木)
・新聞	1面突出しフルカラー告知	1種 1回 (下野新聞)
・SNS	X投稿	13種 14回

(※) 当事業団の職員による収録・放送

エ 生活環境に関する普及活動

(7) 食品衛生月間 (8月1日から31日) に併せ、手洗いの励行や食品の温度管理等とハサップに関する内容について、県内のマスメディアやSNSを活用し意識の向上と知識の普及を図りました。

・テレビ	45秒告知	1種 10回 (とちぎテレビ)
・ラジオ	20秒告知(※)	2種 28回 (エフエム栃木)
・新聞	1面突出しフルカラー告知	1種 1回 (下野新聞)
・SNS	X投稿	3種 3回

(※) 当事業団の職員による収録・放送

(イ) 県内のマスメディアを活用して、簡易専用水道検査の受検勧奨を行いました。

・ラジオ	20秒告知(※)	1種 14回 (エフエム栃木)
------	----------	-----------------

(※) 当事業団の職員による収録・放送

オ 関係機関等との連携・協力による普及活動

(ア) 県や市町及び民間団体等で実施される健康関連イベントなどに協力し、パネル展示やリーフレット・啓発グッズの配付・提供を行うなど、健診・検査の重要性について普及啓発を行いました。

①とちぎ健康の森健康づくり Day（社会福祉法人与ちぎ健康福祉協会：とちぎ健康の森 6月2日）

禁煙、肺がんに関するポスターの掲示、普及啓発グッズの配布

②市町及び事業所の実施する健康に関するイベントへの普及啓発グッズの提供（5市町）

ノベルティ7種 計1,630個

(イ) 公益財団法人結核予防会、公益財団法人日本対がん協会、公益財団法人予防医学事業中央会が発行する機関紙等を県、市町、受診団体等へ配付しました。

・複十字誌（公益財団法人結核予防会） 2,742部

・健康の輪（公益社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会） 243部

・対がん協会報（公益財団法人日本対がん協会） 7,501部

・予防医学ジャーナル（公益財団法人予防医学事業中央会） 180部

2 健診・検査受診率向上のための普及活動

疾病の早期発見・早期治療のためには健診・検査を受診することが非常に重要であることから、ホームページやSNS、定期情報誌を通じて健診・検査の意義や効果を啓発する事業を実施し、受診率の向上を図りました。

(1) ホームページ・SNSの活用

事業内容や採用情報など当事業団の情報や、調査・研究事業から得た情報を掲示するほか、健診・検査の基礎知識や生活習慣病、食品の取扱いについてなど、県民の健康・保持増進に役立つ情報を配信しました。

(2) 定期情報誌の発行

(ア) 健康や環境に関する最新情報や健診・検査の重要性の解説、当事業団が行う各種事業の取組状況などを掲載した定期情報誌「げんきとちぎ」を年2回、各1,500部発行しました。県や受診団体、医療機関、全国の関係団体などに配付したほか、とちぎ健康づくりセンターのロビーにも設置し、ホームページでも公開しました。

(イ) 食品検査及び腸内細菌検査事業の内容と生活環境に関する関心を高めるとともに、ノロウイルス等の予防について周知する広報誌「アシスト Assist」を年3回、各3,000部発行しました。食品検査の受検事業者や県内の関係団体に配付したほか、とちぎ健康の森の人間ドックフロアにも配置し、ホームページでも公開しました。

(3) 看板等を利用した普及啓発

(ア) JR宇都宮駅改札前通路の電飾看板に生活習慣病及びがん検診に関する普及啓発のための看板を年間を通して掲出しました。

(イ) 栃木県本庁舎エレベーター内の壁面に生活習慣病及びがん検診に関する普及啓発のための看板を年間を通して掲出しました。

(ウ) 新しい広報媒体として、JR宇都宮駅東口エリアのデジタルサイネージに、生活習慣病及びがん検診に関する普及啓発のための告知を掲出しました。

がん征圧月間（9月1日～30日）、乳がん月間（10月1日～31日）、糖尿病予防・重症化防止強化月間（11月1日～30日）

第2 県民の健康づくりのための健診・検査等事業及び調査・研究事業

県民の疾病の予防、生活環境の保全、健康の保持増進を図るため、各種の健診・検査事業を実施しました。

令和6年度は、地域健診において、市町と連携して積極的に受診勧奨を行い、受診率向上に努めました。

また、新生児の先天性代謝異常等検査において、治療法の進歩を背景に全国的に広がっているライソゾーム病等スクリーニング検査の令和7年4月からの事業化に向けて、令和6年10月から半年間、データ収集を兼ねて無償にてパイロットテストを実施いたしました。

1 健診・検査等事業の推進（部門別事業件数）

（1）集団健診部門

ア 地域住民の健康を守る健診・検査事業（地域保健）

(ア) 令和6年度は真岡市の健診機関選定において、入札により他健診機関が実施することとなったため、特定健康診査および各種がん検診において受診件数の減（延べ37,573件）がありました。一方で、さくら市の健診を新規に受託することとなり、延べ26,077件の検診・検査を受託しました。

(イ) 子宮頸がん検診は、HPV-DNA併用検診の受診間隔を日本産婦人科医会「子宮頸がん検診リコメンデーション」に準拠した検診受診間隔で実施しており、受診対象者の多い年度となったため、小山地区や芳賀町等で受診者が増加しました。

(ウ) 地域健診において、市町と連携して積極的に受診勧奨を行い、受診率向上に努めました。

事業区分			令和6年度				令和5年度			
			受診 団体数	実施 件数	要精検 者数	%	受診 団体数	実施 件数	要精検 者数	%
胸部 がん 検診	肺がん 検診	X線検査	17	77,907	2,583	3.3	17	79,789	2,716	3.4
		喀痰細胞診		1,245	0	0.0		1,425	3	0.2
胃 検診		X線検査	17	34,371	2,318	6.7	17	37,569	2,400	6.4
		ハイリスク検査	10	3,693	697	18.9	10	3,508	647	18.4
特定 健康 診査	国保 以外	国保	16	40,926	19,289	47.1	16	44,388	21,403	48.2
		社保		8,762	3,648	41.6		8,971	3,711	41.4
		後期高齢者		22,476	11,450	50.9		20,981	10,749	51.2
		健康診査等		5,218	1,364	26.1		4,797	1,318	27.5
		計	16	77,382	35,751	46.2	16	79,137	37,181	47.0
			風疹抗体検査※	-	189	-	-	-	208	-
子宮 がん 検診	集団検診方式		17	31,085	604	1.9	17	27,793	604	2.2
	医療機関方式 (日母)	頸がん	8	10,086	396	3.9	8	9,240	389	4.2
		体がん	7	3,539	17	0.5	7	3,412	12	0.4
乳がん 検診	マンモグラフィ＋超音波		17	46,220	1,856	4.0	17	44,326	1,560	3.5
	超音波			4,589	158	3.4		4,627	136	2.9
	計		17	50,809	2,014	4.0	17	48,953	1,696	3.5
大腸がん検診			16	75,314	3,572	4.7	16	76,846	3,496	4.5
骨密度検診			17	11,808	1,258	10.7	16	13,777	1,432	10.4
前立腺がん検診			16	26,374	2,146	8.1	16	27,421	2,124	7.7

※ 昭和37年1月2日から昭和54年4月1日生まれの男性を対象として令和6年度末日までの3年間、風しん抗体検査及び予防接種を原則無料で実施している事業

イ 働く人の健康を守る健診・検査事業（職域保健）

- (ア) 既存顧客のうち、大手製造業1社が他健診機関にて健診を実施することとなったため、受診者数減（定期健康診断等：1,000件）となりました。また、陸上自衛隊宇都宮駐屯地（胃がん検診：460件）についても、他健診機関が実施することとなりました。
- (イ) とちぎ健康の森の長寿命化工事に伴い、小規模集合型健康診断の健診会場を、とちぎ健康の森から栃木県青年会館コンサーレへ移し健診を実施しました。開催日数は計画から3日減としましたが、一日の受け入れ上限の増などもあり、受診件数は328件増となりました。
- (ウ) メンタルヘルス支援事業におけるストレスチェックについては、新規事業所の実施等により、約1,100件増加しました。また、教育研修についても、新規事業所からの依頼等により、約300件の増となりました。
- (エ) ハラスメント防止支援事業における社外相談窓口「ハラスメント相談ほっとライン」は、新たに佐野市等に採用され、計9団体を実施しました。また、企業研修については、大手団体からの映像研修の依頼がなかったため、実施件数は約600件の減となりました。

事業区分			令和6年度				令和5年度				
			受診 団体数	実施 件数	要精検 者数	%	受診 団体数	実施 件数	要精検 者数	%	
胸部 検診	結核検診		69	16,628	225	1.4	68	18,111	246	1.4	
	肺がん検診	X線検査	1,392	14,654	234	1.6	1,366	14,309	250	1.7	
		喀痰細胞診		183	0	0.0		209	0	0.0	
胃検診			1,291	10,457	571	5.5	1,320	11,664	615	5.3	
健康診断	一般健康診断		2,382	71,276	21,183	29.7	2,353	72,703	21,174	29.1	
	特殊健康診断※	法定項目	じん肺	58	593	-	-	55	706	-	-
			石綿	18	177	-	-	18	184	-	-
			有機溶剤	88	4,215	-	-	91	4,177	-	-
			電離放射線	32	3,658	-	-	27	3,446	-	-
			鉛	17	563	-	-	18	592	-	-
			特定化学物質	84	5,137	-	-	90	4,819	-	-
		行政指導	有害光線	20	879	-	-	18	887	-	-
			騒音	42	1,802	-	-	40	1,578	-	-
			VDT	20	657	-	-	18	653	-	-
			その他	8	778	-	-	11	912	-	-
	健康診断	メンタルヘルス支援	ストレスチェック	174	37,228	-	-	170	36,102	-	-
			フォローアップ面談	2	16	-	-	6	27	-	-
教育研修			12	602	-	-	7	298	-	-	
カウンセリング			19	632	-	-	17	572	-	-	
ハラスメント防止支援		ほっとライン	9	-	-	-	8	-	-	-	
		企業研修	15	2,668	-	-	12	3,254	-	-	
		担当者セミナー	9	32	-	-	7	19	-	-	
風疹抗体検査		-	23	-	-	-	39	-	-		
インフルエンザ予防接種		13	3,132	-	-	14	2,831	-	-		
子宮がん検診（集団検診方式）			463	3,549	72	2.0	422	3,631	76	2.1	

事業区分		令和6年度				令和5年度			
		受診 団体数	実施 件数	要精検 者数	%	受診 団体数	実施 件数	要精検 者数	%
乳がん検診	マンモグラフィ＋超音波	502	2,299	91	4.0	457	2,242	102	4.5
	マンモグラフィ		505	32	6.3		618	29	4.7
	超音波		2,161	95	4.4		2,144	94	4.4
	計	502	4,965	218	4.4	457	5,004	225	4.5
大腸がん検診		1,691	24,199	928	3.8	1,669	24,450	910	3.7
骨密度検診		31	674	87	12.9	28	501	78	15.6
前立腺がん検診		291	3,822	191	5.0	289	4,106	206	5.0

※ 特殊健康診断の判定は各事業所の産業医が総合的に判断することから、受診団体数と受診者数のみの表記

ウ 子ども及び赤ちゃんの健康を守る健診・検査事業（学域・母子保健）

学域・母子保健は、近年、児童生徒数が減少傾向にあることから、検査件数は昨年度比で減少しています。

- (ア) 心臓検診及び貧血検査においては、児童生徒数の減少や学校行事（持久走大会など）廃止に伴う検査中止の影響により、受診数が減少しました。
- (イ) 寄生虫卵検査は、栃木県教育委員会において検査事業を終了したため、検査件数が減少しました。（学校保健安全法施行規則の法定項目からは、平成 28 年 4 月 1 日に削除済）
- (ウ) 先天性代謝異常等検査においては、令和 7 年度 4 月からの事業開始を目標としたライソゾーム病等スクリーニング検査を、全県下の新生児のうち希望者に対し、データ収集を兼ねたパイロットテストとして無料で実施しました。（期間：令和 6 年 10 月～3 月 受検率：99.8%）

事業区分			令和6年度				令和5年度				
			受診 団体数	実施 件数	要精検 者数	%	受診 団体数	実施 件数	要精検 者数	%	
結核検診			95	13,961	24	0.17	98	14,310	36	0.25	
心臓検診	小学校	心電・心音方式	401	10,117	468	4.63	405	10,436	535	5.13	
		1 2 誘導方式		4,586	181	3.95		4,458	221	4.96	
	中学校	心電・心音方式	111	7,984	530	6.64	111	8,259	541	6.55	
		1 2 誘導方式		88	2	2.27		107	10	9.35	
	高等学校	1 2 誘導方式	97	15,155	959	6.33	94	16,342	1,132	6.93	
骨密度検診			1	51	0	0.00	1	64	0	0.00	
小児生活習慣病予防検診			211	12,098	312	2.58	218	12,792	336	2.63	
生化学検査		生化学検査	3	220	7	3.18	3	230	5	2.17	
		貧血検査	199	16,456	97	0.59	209	17,747	155	0.87	
		血清検査	1	473	-	-	1	452	-	-	
寄生虫・尿検査	寄生虫卵検査		17	1,369	2	0.15	40	2,006	3	0.15	
	腎臓検診	1 次 検 査	412	114,176	6,645	5.82	415	116,764	6,084	5.21	
		2 次 検 査		6,193	1,285	20.75		5,646	1,116	19.77	
	尿検査	A (蛋白+糖)	1 次 検 査	45	5,853	89	1.52	45	6,217	56	0.90
			2 次 検 査		-	-	-		-	-	-
		B (蛋白+糖+ 胆血)	1 次 検 査	247	31,931	949	2.97	244	31,947	893	2.80
			2 次 検 査		-	-	-		-	-	-
先天性代謝異常検査			アミノ酸代謝異常症(※1)		-	10,047	2	0.020	-	10,670	1
	有機酸代謝異常症(※2)		1	0.010			1	0.009			
	脂肪酸代謝異常症(※3)		1	0.010			0	0.000			
	ガラクトース血症		1	0.010			1	0.009			
	先天性甲状腺機能低下症		2	0.020			9	0.084			
	先天性副腎過形成症		3	0.030			4	0.037			
	低出生体重児(※4)		212	-			-	205			-

事業区分		令和6年度				令和5年度			
		受診 団体数	実施 件数	要精検 者数	%	受診 団体数	実施 件数	要精検 者数	%
新生児スクリーニング	脊髄性筋萎縮症	-	10,047	1	0.010	-	10,670	0	0.000
	重症複合免疫不全症	-		3	0.030			8	0.075
新生児スクリーニング	ライソゾーム病（※7）	-	4,623	2	0.043	-	-	-	-
	副腎白質ジストロフィー症	-		0	0.000			-	-

（※1）（※2）（※3）先天性代謝異常等検査はタンデムマス法による検査で実施し、アミノ酸代謝異常症、有機酸代謝異常症、脂肪酸代謝異常症として下表の17項目の検査を全ての受検者に実施

（※4）先天性代謝異常等検査の「低出生体重児」実施件数は、2次検査の実施件数を計上

（※5）脊髄性筋萎縮症及び重症複合免疫不全症の2疾患を追加した拡大スクリーニング検査を全ての受検者に実施

（※6）ライソゾーム病等検査は令和6年度からパイロットテストとして実施（令和6年10月から令和7年3月まで）

区分	対象 疾患数	対象疾患名
アミノ酸代謝異常症（※1）	5	①フェニルケトン尿症 ②ホモシスチン尿症 ③メーブルシロップ尿症 ④シトルリン血症Ⅰ型 ⑤アルギニノコハク酸血症
有機酸代謝異常症（※2）	7	①プロピオン酸血症 ②メチルマロン酸血症 ③イソ吉草酸血症 ④メチルクロトニルグリシン尿症 ⑤HMG血症 ⑥マルチプルカルボキシラーゼ欠損症 ⑦グルタル酸血症Ⅰ型
脂肪酸代謝異常症（※3）	5	①CPT-1欠損症 ②MCAD欠損症 ③VLCAD欠損症 ④TFP/LCHAD欠損症 ⑤CPT-2欠損症
ライソゾーム病（※7）	4	①ファブリー病 ②ポンペ病 ③ムコ多糖症Ⅰ型 ④ムコ多糖症Ⅱ型

エ その他の検査事業（感染症検査事業）

新型コロナウイルス感染症検査（PCR検査・高感度抗原定量検査）については、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、令和6年度の事業実施はありませんでした。

事業区分		令和6年度		令和5年度	
		人数	日数	人数	日数
新型コロナウイルス感染症 PCR検査	一般	-	-	-	-
	無症状妊婦※	-	-	60	34
	計	-	-	60	34
新型コロナウイルス感染症 高感度抗原定量検査	一般	-	-	16	1
	小計	-	-	16	1

※ 無症状妊婦：不安を抱える妊婦への分娩前ウイルス検査事業

(2) 施設健診部門

ア 人間ドック

- (ア) 令和6年度は、「とちぎ健康の森の長寿化工事」に伴い、2月上旬から3月まで事業を休止したため、例年よりも28日間少ない205日間の開催でした。
- (イ) 基本コースの実施人数は、前述の休業のため昨年度比538名減の11,023名でしたが、休業期間前に可能な限り人間ドックを受診いただけるよう受入体制を強化したことで、1日あたりの実施件数は昨年度比4.2名増の53.8名でした。
- (ウ) オプション検査においても、基本コースの実施人数減に伴い全体的に減少しましたが、胃内視鏡検査については、受診希望者が増加していることから、3列稼働日を9日間追加して受入体制の拡充を図った結果、前年度並みの実施人数でした。また、新たにMCI検査（軽度認知障害リスク検査）を導入し92件実施しました。
- (エ) 喀痰細胞診検査については、ハイリスク対象者により確実に検査を実施していただくため基本コースからオプション検査扱いに変更し、450名実施しました。

事業区分		令和6年度			令和5年度		
		実施件数	要精検者数	%	実施件数	要精検者数	%
基本コース		11,023	3,600	32.7	11,561	4,064	35.2
婦人ドックコース		12	1	8.3	21	3	14.3
肺ドックコース		155	4	2.6	4	0	0.0
オプション検査	乳腺超音波検査	3,157	58	1.8	3,420	64	1.9
	2Dマンモグラフィ	2,127	51	2.4	2,421	55	2.3
	3Dマンモグラフィ	640	-	-	1,011	-	-
	子宮頸がん検査	2,647	32	1.2	2,809	32	1.1
	経膣超音波検査	333	11	3.3	223	9	4.0
	骨粗鬆症検査	356	51	14.3	481	57	11.9
	P S A 検査 (前立腺がん検査)	1,778	90	5.1	1,803	97	5.4
	胸部CT検査	580	13	2.2	788	12	1.5
	胃内視鏡検査	3,461	101	2.9	3,504	106	3.0
	血管年齢測定	402	-	-	332	-	-
	内臓脂肪測定	267	-	-	257	-	-
	H P V 検査 (ヒトパピローマウイルス)	148	-	-	74	-	-
	甲状腺超音波検査	366	15	4.1	377	15	4.0
	甲状腺機能検査	268	4	1.5	251	0	0.0
	視野検査	298	12	4.0	245	23	9.4
	頸動脈超音波検査	392	3	0.8	433	7	1.6
	ペプシノゲン検査	540	-	-	545	-	-
	血中ピロリ抗体検査	771	-	-	726	-	-
	H O M A - R (インスリン抵抗性検査)	162	-	-	141	-	-
	姿勢分析	28	-	-	32	-	-
	アレルギー検査	142	-	-	113	-	-
	サインポスト遺伝子検査	31	-	-	28	-	-
	風疹抗体検査	16	-	-	14	-	-
	N T - p r o B N P (慢性心不全リスク検査)	142	0	0.0	110	0	0.0
	喀痰細胞診検査	450	0	0.0	-	-	-
	M C I 検査 (軽度認知障害リスク検査)	92	-	-	-	-	-

イ 特定健康診査

人間ドックフロアを使用して実施している特定健康診査は減少し、令和6年度は54名実施しました。

事業区分		令和6年度			令和5年度		
		実施件数	要精検者数	%	実施件数	要精検者数	%
特定健康診査	社保	54	18	33.3	70	26	37.1

ウ 健康づくりセンター支援事業

栃木県、社会福祉法人とちぎ健康福祉協会及び当事業団の3者による「とちぎ健康づくりセンター事業の一層の推進のための取り組みの実施に関する協定書」に基づき、次の事業を実施しました。

(ア) 医師の派遣

とちぎ健康づくりセンター利用者に対する医学的助言、スタッフに対する助言指導、健康づくり講座の講師として医師を派遣しました。

(イ) とちぎ健康づくりセンターと連携した取組

とちぎ健康づくりセンターの利用者や事業団の特定保健指導対象者が、それぞれの施設の機能（センター：トレーニング施設、事業団：医学的検査）を活用しやすいように、スタンプカードや施設利用券を発行して利用促進を図りました。

(ウ) 県民の日イベントへの協力

社会福祉法人とちぎ健康福祉協会が主催する「健康づくり Day」で、骨密度測定（無料）を実施しました。

(3) 保健指導部門

ア 特定保健指導の実施

- (ア) 人間ドックや集団健診後の特定保健指導は、28 団体の 1,390 人に実施しました。動機付け支援は 877 人、積極的支援は 513 人でした。
- (イ) 初回分割面接（集団健診当日において血液データ等が揃わない段階での保健指導）を一部保険者の依頼により 40 名に実施しました。
- (ウ) 令和 6 年 4 月より開始された第 4 期特定保健指導に基づき、アウトカム評価の導入及び新たな保健指導システムを利用し ICT を活用した保健指導を実施しました。

事業区分				令和6年度		令和5年度	
				実施団体数	実施件数	実施団体数	実施件数
特定保健指導	市町村国保	出張型	動機付け支援	3	263	2	78
			積極的支援	5	137	4	108
		施設型	動機付け支援	2	38	1	28
			積極的支援	1	6	1	9
	その他	出張型	動機付け支援	6	94	6	104
			積極的支援	6	79	6	101
		施設型	動機付け支援	17	482	11	447
			積極的支援	13	291	9	241
	合計		動機付け支援	28	877	20	657
			積極的支援	25	513	20	459
		総実施件数			1,390		1,116

※出張型：依頼団体が指定した会場に出張して保健指導を実施する場合

施設型：とちぎ健康の森内で保健指導を実施する場合

※動機付け支援の中に動機付け支援相当3件（市町村国保出張型1件、その他施設型2件）を含む

※合計の実施団体数は延数

イ 専門職派遣、健康教室の受託

市町や事業所等から専門職の派遣や健康教室の依頼を受け、保健師・管理栄養士・健康運動指導士を派遣しています。

令和6年度は専門職派遣を11団体に対し57日間、健康教室は2団体に対し6日間実施しました。対象や内容は多岐にわたり、健康管理や生活習慣病予防のほか障害者雇用に積極的な事業所での身体機能測定・健康講話、従業員を対象としたメンタルヘルス、介護予防指導員を対象とした運動指導などを実施しました。

事業区分			令和6年度		令和5年度	
			実施団体数	実施日数	実施団体数	実施日数
専門職派遣	市	町	4	35	5	47
	事業所		7	22	6	15
健康教室	事業所		2	6	3	14
合計			13	63	14	76

ウ 健康相談センター事業

県民からの様々な相談に対し、医師、保健師、管理栄養士、健康運動指導士等の専門スタッフが対応しています。

令和6年度は113件の相談があり、内容としては人間ドック・集団健診等の検査所見や医療機関紹介に関する相談が全体の半数以上を占めています。

相 談 内 容 区 分	令和6年度				令和5年度			
	人間ドック		集団健診等		人間ドック		集団健診等	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
検 査 所 見	27	38.6	16	37.2	14	19.4	26	32.9
医 療 機 関 紹 介	16	22.9	15	34.9	15	20.8	22	27.8
検 査 内 容	2	2.9	-	-	-	-	3	3.8
生 活 習 慣	1	1.4	3	7.0	6	8.3	5	6.3
紹 介 状	16	22.9	1	2.3	21	29.2	6	7.6
そ の 他	8	11.4	8	18.6	16	22.2	17	21.5
小 計	70	100	43	100	72	100	79	100
合 計	113				151			

(4) 食品環境検査部門

ア 腸内細菌検査

腸内細菌検査は、栃木県保健環境センター内の食品環境検査所に移転し令和6年4月から事業を開始しました。食品衛生協会会員の減等により件数は減少しました。また、学校給食従事等の主な減少要因は入札等によるものです。

事業区分			令和6年度			令和5年度		
			実施件数	要精検者数	%	実施件数	要精検者数	%
腸内細菌検査	食品取扱者	マルチプレックスPCR法※	76,805	45	0.059	80,666	22	0.027
	学校給食従事者等		41,443	22	0.053	43,993	15	0.034

※ 赤痢菌、サルモネラ属菌、O157やO26、O111等を含む腸管出血性大腸菌を同時にスクリーニング

イ 食品検査

細菌検査は食品の汚染指標菌の検査等が増え昨年度比 419 件増の 7,979 件、理化学検査は食品添加物や水分活性等の検査が減り昨年度比 41 件減の 884 件実施しました。

ウ ノロウイルス検査

県内でノロウイルス食中毒が昨年度に続き多く発生したことから 1,011 件実施いたしました。

エ 放射能検査

放射能検査は、小山市教育委員会等からの依頼が減り昨年度比 73 件減の 406 件実施しました。

事業区分		令和6年度			令和5年度		
		実施件数	不適件数	%	実施件数	不適件数	%
食品検査※	細菌検査	7,979	28	0.35	7,560	19	0.25
	理化学検査	884	1	0.11	925	1	0.11
	農薬検査	3,885	0	0.00	3,818	0	0.00
	ノロウイルス検査	1,011	67	6.63	1,049	53	5.05
放射能検査	食品・環境試料等	203	0	0.00	274	0	0.00
	飲料水	203	0	0.00	205	0	0.00
	計	406	0	0.00	479	0	0.00

※ 食品検査は、検査項目数を実施件数としています。

オ 食品自主衛生管理認証制度（とちぎ HACCP）

認証業務を行う認証機関として 10 回の審査会を開催し、3 件の新規認証と 16 件の認証更新を行いました。

区分	令和6年度	令和5年度
新規	3	3
更新	16	20
計	19	23

カ 簡易専用水道検査等

(7) 簡易専用水道検査は、不動産管理団体1団体や上三川町教育委員会からの受託がなく現場検査を昨年度比55件減の1,271件実施しました。

(イ) 一般水質検査は、主に温泉水や浴槽水のレジオネラ属菌検査等で昨年度比69件減の487件実施しました。

その他（嫌気性芽胞菌など）の検査を昨年度比5件増の170件実施しました。

事業区分			令和6年度			令和5年度		
			実施件数	不適件数	%	実施件数	不適件数	%
簡易専用水道検査等	簡易専用水道検査	現場検査	1,271	16	1.26	1,326	21	1.58
		書類検査	124	0	0.00	131	0	0.00
	一般水質検査	レジオネラ属菌検査等	487	39	8.01	556	69	12.41
		その他の菌（嫌気性芽胞菌など）	170	0	0.00	165	0	0.00

2 健診・検査等結果に基づく調査・研究事業

県民の疾病予防、生活環境の保全、健康の保持増進及び県内における検診技術や学術水準の向上を図るため、健診・検査等で得られたデータの集統計及び解析やがん検診受診者の精密検査受診状況の追跡調査を行い、その結果及び検診手法などに関して得られた成果を学会に発表するほか、事業年報等にまとめて市町や事業所などの受診団体等に対して提供することにより、疾病予防対策及び県民の健康管理の基礎資料としての活用を促進しました。

また、県民向けの健康情報等の発信を定期情報誌やホームページを活用して実施するとともに、当該成果等を活用して各種の普及啓発事業を実施しました。

(1) 発見がん追跡調査の実施

令和5年度に、住民健診における胃・肺・大腸・子宮頸・乳・前立腺の各がん検診や人間ドックを受け、精密検査が必要になった受診者のうち、精密検査結果連絡票にがん又はがん疑いと記載のあった症例について、発見がん追跡調査を実施しました。各がん取扱い規約に基づいた詳細な内容を把握する調査票を、精密検査を実施した112医療機関宛てに1,244枚送付し、回収できたのは1,189枚(回収率95.6%)でした。

これにより、がん発見率や陽性反応適中度等のプロセス指標値の遵守状況を把握し、がん検診の精度管理状況の評価をし、改善に向けた検討を行っています。なお、追跡調査結果は、読影医及び調査協力医療機関に報告しています。

(2) 放射線業務従事者の健康影響に関する疫学研究への協力

厚生労働省では福島第一原子力発電所において緊急作業に従事した作業員の長期にわたる健康影響を明らかにすることを目的に、平成26年度から約30年間にわたる疫学的研究を実施しています。当事業団では県内唯一の健診受託機関として参画しており、令和6年度は17名の対象者に健康診査を実施しました。

(3) 診断結果等の提供

健診・検査等で得られたデータ及びそれらのデータを統計的に分析したものを、受診団体及び調査・研究機関等に提供しました。

ア 地域・職域診断サービス報告書を受診団体へ提供

受診団体における健康づくりに活用いただくために、健康診断の有所見率や生活習慣などについて当該団体と全国・県データを比較評価し、報告書として提供しています。さらに要望に応じて保健師等を派遣し、分析結果や改善策について直接説明を行っています。

令和6年度は16団体(10市町・6事業所)に提供しました。

*全国・県のデータは公益財団法人予防医学事業中央会の「地域職域診断サービス」を活用

イ 調査研究機関等への提供

肺がんによる死亡者数の増加を受け、日本医療研究開発機構(AMED)は、非・低喫煙者を対象に胸部X線検査を行う検診と胸部CT検査を行う検診の無作為化比較試験を実施し、胸部CT検査の有効性を検証しています。

当事業団は令和4年12月からこの試験に参加し、令和6年2月の新規募集終了まで131名の方に検査を実施しました。令和6年度の検査はありませんでしたが、初回検査で胸部CT検査の対象となった方は、5年後の令和9年度～10年度に再度胸部CT検査を行う予定となっています。

ウ 事業年報作成及び配布

健診・検査で得られたデータの集統計や解析、がん追跡調査の結果等をまとめた当事業団発足以来発行している事業年報(第48号)を610部作成しました。県民の疾病予防及び健康増進のための基礎資料や、地域・職域において実施される保健事業の計画及び市町が定める健康増進計画策定等の参考にできるよう、県、市町、受診団体、医療機関、大学などの関係機関に配付したほか、より多くの方が利用できるようホームページに公開しました。

エ 各種学会研修会等での公表

研究の成果を広く県内関係団体や全国的な研究機関等における疾病の予防、生活環境の保全、健康増進のための基礎資料として活用の促進に繋げるため、事業の成果を次のとおり学会で発表し、公表しました。

学会名（開催日・開催場所）	演 題
第62回栃木県公衆衛生学会 ・令和6年9月5日 ・宇都宮市	1 実施方法変更による学校心臓検診の結果について 2 乳がん検診におけるマンモグラフィ・超音波検査併用方式の有用性（3年間の発見乳癌より）
第58回全国予防医学技術研究会 ・令和7年2月20日、21日 ・京都府	1 当施設の胃がんリスク層別化検診と胃X線検査萎縮度分類の胃がん発見率調査 2 胸部X線画像A I 読影システム導入後の追跡調査結果報告（第1報） 3 住民健診におけるWeb予約システムおよび受診日優先予約方式（日付指定）の導入効果について

3 精度管理の充実

（1）内部精度管理

ア 当事業団施設で行われている各部門の検体検査について、日常的なデータの精度が一定基準の範囲内にあるか得られたデータをもとに統計学的手法を用いて解析評価を行いました。また、既知試料（標準物質）などを使用して、日々の検査精度（精密度や正確度）の確認を行いました。

さらに精度向上のため、肺がん検診、胃がん検診、乳がん検診、子宮頸がん検診、心電図判定、先天性代謝異常検査について外部の専門家を含めた委員会を開催しました。

委 員 会 名	開 催 日	開 催 場 所
精度管理専門委員会肺がん検診委員会	令和7年3月6日	とちぎ健康の森
精度管理専門委員会胃がん検診委員会	令和7年2月10日	とちぎ健康の森
精度管理専門委員会子宮頸がん検診委員会	令和7年3月10日	とちぎ健康の森
精度管理専門委員会乳がん検診委員会	令和7年3月11日	とちぎ健康の森
精度管理専門委員会心電図検査委員会	令和7年2月14日	とちぎ健康の森
精度管理専門委員会先天性代謝異常検査	令和7年2月26日	とちぎ健康の森

（2）外部精度管理

外部精度管理については、次に示す第三者機関が実施する精度管理調査に参加し、客観的評価を受けて検査精度を確認し、精度管理の徹底を図りました。

区 分	精 度 管 理 名	実 施 団 体 名	評 価
胸部X線検査	胸部画像精度管理研究会	公益財団法人結核予防会	評価A、B
	胸部X線検査精度管理調査	公益社団法人全国労働衛生団体連合会	総合評価A
肺がん検診 子宮がん検診 （細胞診）	日本臨床細胞学会コントロールサーベイ	公益財団法人日本臨床細胞学会	正解率86.6%
	日臨技臨床検査精度管理調査	一般社団法人日本臨床衛生検査技師会	全て評価A
胃がん検診	胃部X線検査精度管理調査	公益社団法人全国労働衛生団体連合会 一般社団法人日本消化器がん検診学会	総合評価A
乳がん検診	マンモグラフィ施設画像評価	特定非営利活動法人 日本乳がん検診精度管理中央機構	総合判定結果B-1

区 分	精 度 管 理 名	実 施 団 体 名	評 価
健康診断 特殊健康診断 生化学検査 特定健康診断	日本医師会臨床検査精度管理調査	公益社団法人日本医師会	全てA評価
	栃木県臨床検査精度管理調査	栃木県臨床検査精度管理委員会	評価A
	全衛連臨床検査精度管理調査	公益社団法人全国労働衛生団体連合会	評価A
	予防医学事業中央会精度管理調査 健診・検査データ共有化事業	公益財団法人予防医学事業中央会	総合評価A
	労働衛生検査に関する精度管理調査 (鉛・有機溶剤健康診断に係る代謝物等の 測定に関する精度管理調査)	公益社団法人全国労働衛生団体連合会	評価A
超音波検査	腹部超音波検査精度管理調査	公益社団法人全国労働衛生団体連合会 公益社団法人日本人間ドック予防・医療学会	評価B
	栃木県臨床検査精度管理調査	栃木県臨床検査精度管理委員会	評価A
心電図検査	栃木県臨床検査精度管理調査	栃木県臨床検査精度管理委員会	評価A
先天性代謝 異常検査	先天性代謝異常症等 マス・スクリーニング精度管理	一般社団法人日本マススクリーニング学会	検査精度は適正
	SCID/SMAスクリーニング技能試験 (PT)		「陰性・陽性」判定が適切
食品検査	食品衛生外部精度管理調査	一般財団法人食品薬品安全センター	全て満足
簡易専用水道検査	簡易専用水道外部精度管理調査	厚生労働省 一般社団法人全国給水衛生検査協会	評価S
水質検査	レジオネラ菌検査精度管理サーベイ	島津ダイアグノスティクス	非濃縮検体：良好範囲内 濃縮検体：良好範囲外

4 優良施設認定等の維持

当事業団は次に示す全国的評価機関の行う各種認定を受け、人材の育成、機器の管理、システムの充実に努めました。

区 分	認 定 等 の 名 称	認 定 団 体
乳がん検診	マンモグラフィ検診施設画像認定	特定非営利活動法人日本乳がん検診 精度管理中央機構
特定健康診断 健康診断	労働衛生サービス機能評価認定機関	公益社団法人全国労働衛生団体連合会 労働衛生サービス機能評価委員会
	精度管理認証事業	公益財団法人予防医学事業中央会
	臨床研修協力施設	厚生労働省
細胞診	日本臨床細胞学会認定施設	公益社団法人日本臨床細胞学会
人間ドック	人間ドック健診施設機能評価認定施設	一般社団法人日本病院会 公益社団法人日本人間ドック予防・医療学会
簡易専用水道検査	水道法第34条登録検査機関 (登録番号第41号)	厚生労働省
個人情報保護	プライバシーマーク	一般財団法人日本情報経済社会推進協会

5 学術委員による指導

健診・検査の精度の向上や効果の高い事業を実施するため、自治医科大学・獨協医科大学などの公衆衛生をはじめとした各部門の専門医である 12 名の学術委員より指導を受け、検査システムの構築や改善並びに精度向上に努めました。

学 術 委 員 氏 名	所 属
阿 江 竜 介	自治医科大学 地域医療学センター 公衆衛生学部門教授
藤 原 寛 行	自治医科大学 産科婦人科学講座主任教授
妹 尾 正	獨協医科大学 医学部大学院 眼科学教授

学 術 委 員 氏 名	所 属
小 橋 元	獨協医科大学 副学長 獨協医科大学 医学部 公衆衛生学講座主任教授
入 澤 篤 志	獨協医科大学 医学部 内科学（消化器）主任教授 獨協医科大学病院 副病院長
小 嶋 一 幸	獨協医科大学 医学部 上部消化管外科学（一般外科）主任教授
福 島 啓 太 郎	獨協医科大学 医学部 小児科学講師
難 波 美津雄	佐野医師会病院 名誉院長
山 形 崇 倫	栃木県リハビリテーションセンター 理事長
鈴 木 光 明	新百合ヶ丘総合病院 がんセンター センター長 自治医科大学 名誉教授
安 藤 二 郎	地方独立行政法人栃木県立がんセンター 病院長
小 林 望	国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院 検診センター長

6 健診・検査等における新たな手法の取組

行政や医師会、大学病院等と連携し、より精度の高い効果的な手法による健診・検査を実施して、新たな手法等の検証や精度管理の向上に係る研究等を積極的に行いました。

（１）先天性代謝異常検査におけるライソゾーム病等スクリーニング検査

令和７年度４月からの事業開始を目標としたライソゾーム病等スクリーニング検査を、全県下の新生児のうち希望者に対し、データ収集を兼ねたパイロットテストとして無料で実施しました。

（期間：令和６年１０月～３月 件数：４,６２３件）

7 健診・検査等の質の向上のための連携体制の構築

行政や他の検診機関、関係機関等と連携した協議会等の主催や研修会の開催及び全国の関係機関との情報交換の実施等の各種取組を展開し、県民の健康の保持増進や県内の健診・検診等の質の向上を図りました。

（１）栃木県がん集検協議会・がん集団検診従事者研修会の運営

県民に、より精度の高いがん検診を提供するため、がん検診の有効な実施手法の検討及びがん検診従事者の資質向上等を目的として、県内の保健所、市町、医師会及び大学病院や検診機関などの医療関係機関などを構成員とした栃木県がん集検協議会を栃木県立がんセンターと協力して運営し、全県的な発見がん追跡調査を行うとともに、次に示す研修会等を開催しました。

研 修 会 等 名 称	開 催 日	開 催 場 所
第1回精度管理部会	令和6年 8月22日	とちぎ健康の森
第1回前立腺がん検診部会	令和6年 9月25日	とちぎ健康の森
子宮がん検診従事者研修会	令和6年11月30日	獨協医科大学病院
前立腺がん検診従事者研修会	令和6年12月12日	栃木県立がんセンター
胃がん検診従事者研修会	令和7年 2月10日	Web形式
精度管理研修会	令和7年 3月4日	栃木県教育委員会
乳がん検診従事者研修会	令和7年 3月5日	Web形式
大腸がん検診従事者研修会	令和7年 3月6日	Web形式
肺がん検診従事者研修会	令和7年 3月6日	Web形式
第2回精度管理部会	令和7年 3月12日	書面開催

(2) 栃木県集団検診実施機関連絡協議会の運営

県内における集団検診の向上発展を図ることを目的として、栃木県集団検診実施機関連絡協議会の事務局を運営し、連絡会議等を開催しました。

開催月日	主たる審議事項
栃木県集団検診実施機関 連絡協議会総会 令和6年 9月13日 (とちぎ健康の森)	1 議題 (1) 役員の選任について (2) 令和5年度事業報告 (3) 令和5年度収支決算報告および令和4年度監査報告 (4) 令和6年度事業計画 (5) 令和6年度収支予算 2 意見交換 3 報告事項およびその他
栃木県集団検診実施機関 連絡協議会健診検査部会 令和7年 2月17日 (とちぎ健康の森)	1 あいさつ 2 意見交換 3 その他

(3) 専門医師、技術者の講師派遣等

当事業団が有する検診技術等を広く普及させ、県民の健康保持・増進に繋げていくため、公益財団法人日本対がん協会や特定非営利活動法人日本乳がん検診精度管理中央機構等が行う各種講習会や研修会に主催団体からの依頼に応じて医師等を講師として派遣しました。

主な派遣先は次のとおりです。

研修会等名称	講師派遣
産業保健セミナー 計6回(栃木産業保健総合支援センター)	医師
認定産業医研修 計4回(地区医師会・栃木産業保健総合支援センター共催)	医師
特定化学物質、四アルキル鉛等作業主任者技能講習 計6回(人財学園)	医師
有機溶剤作業主任者技能講習 計4回(人財学園)	医師
第22回マンモグラフィ読影指導者研修会	医師
第27回マンモグラフィ撮影技術講習会	医師
第59回マンモグラフィ更新講習会・第121回読影試験	医師
第97回マンモグラフィ更新講習会・第122回読影試験	医師
第98回マンモグラフィ更新講習会・第123回読影試験	医師

(4) 研究会・研修会及び会議等への参加及び情報交換

公益財団法人結核予防会、公益財団法人日本対がん協会及び公益財団法人予防医学事業中央会が開催する全国大会やブロック会議などに参加し、全国の各種予防医学活動の動向を把握するほか、全国の関係団体間での精度管理、血液検査データの共有化などを図り、県民に対して、より精度の高い健診・検査を提供できるよう努めました。

(5) 県などが実施する各種検討会への参画

栃木県などが県民の健康保持・増進やがんなどの生活習慣病対策のために設立している各協議会等に委員として参画しました。なお、主な協議会等への参加状況は次のとおりです。

委員会名	委員会における役職	開催日	出席者
栃木県がん集検協議会	副会長	令和6年6月20日	理事長
	理事		医療局長
	副会長	令和6年8月6日	理事長
	理事		医療局長
栃木県公衆衛生協会	副会長	令和6年7月4日	理事長
		令和7年3月19日 (書面開催)	

委 員 会 名	委員会における役職	開 催 日	出 席 者
栃木県がん対策推進協議会 がん検診部会	委 員	令和6年7月23日 (Web開催)	医療局長
栃木県がん対策推進協議会 がん登録部会	委 員	令和6年9月24日 (Web開催)	乳がん検診部長
とちぎ健康21プラン推進協議会	委 員	令和6年10月21日	理事長
とちぎ健康21プラン推進協議会及び 健康長寿とちぎづくり推進協議会幹事会	委 員	令和7年3月28日	理事長
栃木県医療費適正化計画協議会	委 員	令和6年10月1日	医療局長
		令和6年12月19日	
		令和7年2月17日 (書面開催)	

(6) 公衆衛生学実習生の受入れ

公衆衛生学の実習生受け入れを次のとおり実施しました。

内 容	実施日	対 象	人 数
公衆衛生看護学実習Ⅱ	令和6年6月5日、7日	足利大学看護学部4年生	44人
公衆衛生看護学実習Ⅱ (健診機関における保健活動)	令和6年9月20日	栃木県立衛生福祉大学校保健学科	26人
健診業務における臨床検査技師の役割 及び他職種との連携について	令和7年3月3日	栃木県立衛生福祉大学校臨床検査学科 2年生	14人

8 会議等の開催

(1) 評議員会・理事会

令和6年度の評議員会・理事会を次のとおり開催しました。

会 議 名	開 催 月 日	主 たる 審 議 事 項
第31回 評 議 員 会	令和6年5月9日 (全員同意によるみなし決議)	1 理事の選任について 2 監事の選任について
第32回 評 議 員 会	令和6年6月19日	1 令和5年度事業報告の承認について 2 令和5年度決算の承認について 3 任期満了に伴う役員の選任について
第33回 評 議 員 会	令和7年3月28日 (全員同意によるみなし決議)	1 理事の選任について 2 役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する 規程の一部改正について
第72回 理 事 会	令和6年4月15日 (全員同意によるみなし決議)	1 評議員会提案議案について
第73回 理 事 会	令和6年4月25日 (全員同意によるみなし決議)	1 評議員会提案議案について
第74回 理 事 会	令和6年5月16日 (全員同意によるみなし決議)	1 評議員候補者の推薦について 2 評議員候補者の推薦について 3 評議員選定委員会委員の選任について 4 評議員選定委員会委員の選任について
第75回 理 事 会	令和6年6月4日	1 令和5年度事業報告について 2 令和5年度決算報告について 3 評議員会の開催について 4 業務執行状況の報告 5 前理事田村明彦氏との業務委託契約について
第76回 理 事 会	令和6年6月19日 (全員同意によるみなし決議)	1 理事長の選定について

会 議 名	開 催 月 日	主 たる 審 議 事 項
第77回 理 事 会	令和6年7月17日 (全員同意によるみなし決議)	1 評議員候補者の推薦について
第78回 理 事 会	令和7年3月11日	1 令和6年度補正予算について 2 令和7年度事業計画について 3 令和7年度予算について 4 役員賠償責任保険の加入について 5 常勤役員の報酬月額について 6 常勤役員の期末手当の額について 7 業務執行状況の報告
第79回 理 事 会	令和7年3月19日 (全員同意によるみなし決議)	1 評議員会提案議案について 2 評議員会提案議案について

(2) 評議員選定委員会

令和6年度の評議員選定委員会を次のとおり開催しました。

会 議 名	開 催 月 日	主 たる 審 議 事 項
第20回評議員選定委員会	令和6年5月23日 (全員同意によるみなし決議)	1 評議員の選任について 2 評議員の選任について
第21回評議員選定委員会	令和6年7月29日 (全員同意によるみなし決議)	1 評議員の選任について

(3) その他の会議

その他の会議を次のとおり開催しました。

会 議 名	開 催 月 日	主 たる 審 議 事 項
令和6年度 住民健診担当者 意見交換会	令和7年3月4日 (栃木県教育会館 3階 大会議室)	1 がん検診精度管理に関する研修会 (1)発見がん追跡調査報告 (2)がん検診における精密検査「受診・未受診・未把握」 2 意見交換
第8回 とちぎ産業保健 セミナー	令和7年3月7日 (WEB開催)	1 令和7年度 検診・検査の変更点など(精度管理部門) 2 令和7年度 検診に関する変更点など(集団健診部門) 3 講演 「地域、職域を問わず 正しいがん検診をすべての人に」 講師：公益財団法人福井県健康管理協会 がん検診事業部長 松田一夫 先生

9 安全管理体制の充実

(1) 個人情報保護マネジメントシステム(プライバシーマーク)の推進

当事業団が取り扱う多くの要配慮個人情報の管理の重要性を踏まえ、職員意識の向上と、個人情報の取り扱いについての社会的信用を確立することを目的に、プライバシーマーク制度を導入し、個人情報保護マネジメントシステム運用しています。平成17年度に県内医療機関初の認定を受けたプライバシーマーク制度の趣旨に基づき、継続的にJIS要求規格に適合した個人情報保護マネジメントシステムの改善に努めています。令和6年度は、通算11回目の付与適格申請を、審査機関である一般財団法人医療情報システム開発センターに行いました。

(2) リスク管理システムの推進

安全かつ適切な業務の管理・推進のために設置しているリスク管理委員会において、インシデント事例の収集やアクシデント防止の対策等について審議し、職員教育に取り組むなど組織全体で情報の共有を行い、リスク管理体制を強化し安全性の向上に努めました。

1.0 機器等の整備

健診・検査精度の向上や効率化を図るため、次のとおり機器、電算システム及び車両等を整備しました。

(1) 検査等機器

(取得価格 1,000,000 円以上)

No.	機器名等	型式・規格	数量	用途	区分
1	解析付心電計	FCP-9800	4	特定健康診査 健康診断	更新
2	心電心音解析装置	ECP-8641	1	心臓検診	更新
3	システム生物顕微鏡	BX53LED-33	1	子宮がん検診	新規
4	超音波診断装置	SONIMAGE HS2	2	乳がん検診	更新
5	超音波骨密度測定装置	AOS-100SA	1	骨密度検診	更新
6	蛍光マイクロプレートリーダー	SH-9500Lab	1	代謝異常検査	更新
7	電子内視鏡装置	ELUXEO 8000	1	人間ドック	更新
8	温度勾配恒温器	MTI-1000	1	食品検査	更新
9	リアルタイムPCRシステム	CFX Opus Deepwell	1	食品検査	更新

(2) 電算システム(ハードウェア・ソフトウェア)

No.	システム名	システム内容等	数量	開発委託先	区分
1	健診管理システム	住民健診用機能追加 (ソフトウェア)	1	(株)TKC	新規
2	健診管理システム	事業所健診用機能追加 (ソフトウェア)	1	(株)TKC	新規
3	代謝異常検査システム	代謝異常検査システム機能追加 (ソフトウェア)	1	(株)ケーシーエス	新規
4	人間ドックシステム	人間ドック情報管理システム機能追加 (ソフトウェア)	1	(株)メルクスシステム	新規
5	人間ドックシステム	WEB予約システム連携機能追加 (ソフトウェア)	1	(株)メルクスシステム	新規
6	臨床検査システム	臨床検査システム機能追加 (ソフトウェア)	1	エム・ワイ・エス(株)	新規
7	臨床検査システム	臨床検査システムサーバ (ハードウェア)	1	エム・ワイ・エス(株)	更新

No.	システム名	システム内容等	数量	開発委託先	区分
8	臨床検査システム	検査検体振分装置サーバ (ハードウェア)	1	ロシュ・ダイアグノス ティックス(株)	更新
9	レポートシステム・PACKS	レポートシステム・PACKS (ソフトウェア)	1	(株)スリーゼット	新規
10	グループウェアシステム	サイボウズサーバ (ハードウェア)	1	コムコ(株)	更新
11	グループウェアシステム	サイボウズGaroon (ソフトウェア)	1	コムコ(株)	更新
12	業務用アプリ	ブリザンター (ソフトウェア)	1	(株)エス・エム・エ ス・データテック	新規
13	財務会計システム	請求システム機能追加 (ソフトウェア)	1	満喜(株)	新規
14	ウイルス対策システム	ウイルス対策システムサーバ (ハードウェア)	1	コムコ(株)	更新

(3) 車両

No.	車両名	型式・規格	数量	用途	区分
1	乳がん検診車	いすゞ 2PG-CXY77CJ キャノン PeruruDIGITAL	1	乳がん検診	更新
2	胃部検診車	日野 2PG-FQ1ANJJ 富士 ESPACIO AVANT	1	胃検診	更新
3	健診スタッフ車	日産 NV200バネット16X-2R	1	健康診断	更新
4	胃部検診車 (X線撮影装置載せ替え)	富士 ESPACIO AVANT	2	胃検診	新規
5	胸部検診車 (X線撮影装置載せ替え)	キャノン SREX-A32B/S3	1	胸部検診	新規
6	胸部検診車 (蓄電池載せ替え)	チタン酸リチウム蓄電池	2	胸部検診	新規